



白川 祐司氏
あおぞら銀行 取締役会長

リレートーク



奥田 陽一氏
伊藤忠テクノソリューションズ
取締役社長

#153

ITとそのリスク

ITの存在なくして企業活動は継続できないと言ってもよい時代である。経営戦略の構築から日々のメールに至るまで、全身をくまなく結ぶ毛細血管や末端神経にたとえられるように、ITシステムに一度事故が発生するや、企業活動はたちまち滞ってしまう。インターネットの普及により、望む情報へのアクセスが容易になり、さらに昨今では、「クラウド・コンピューティング」なる概念も登場し、我々は数々の効率性と利便性を手に入れたその一方で、さまざまなリスクと隣り合わせになったのも事実だ。ITを今後も攻めのツールとして積極活用していくことに議論の余地はないが、リスクについては常日頃から十分に検討し、対策を講じる必要がある。たとえば「ガンブラー」なるコンピュータウイルスを使い、名立たる企業のホームページが改ざんされる被害が多発し始めたのはつい昨年末のことだが、これらには対策ソフトに加えて、最近ではハッキング技術を応用したセキュリティ診断サービスも登場し、防衛は相当程度、可能になってきた。

ITに関わるリスクで厄介なのは、企業の内部に起因するものだ。システム運用時における個人情報等の紛失や流出が例に挙げられるが、経営者の方々からすれば、「名立たる企業の優秀な担当者が日夜対策に奔走し、会社としても万全に近い教育や対策を講じているはずなのに、なぜか世間を賑わすのか?」と思われるかもしれない。IT業界に長く身を置く一人として言わせていただければ、このリスクは、単にガイドラインや手順を整備するだけでは、予防が実に難しい問題なのだ。だからこそ、企業トップ自らが、社員への注意喚起と関係部署への対策強化を継続して呼びかけること、これが一番の処方箋と私は考える。ITインフラが企業にとって不可欠である以上、企業トップの最重要テーマの一つとして、リーダーシップを発揮すべきだ。企業が人で成り立つ以上、事故や事件は避けられないかもしれないが、トップ自らのリーダーシップが普段から社内に行き届いている限り、万が一、発生した際のダメージも必ずやミニマイズできると私は信じている。

次回は 西川 久仁子氏(スーパーナース 取締役社長) にご登場いただきます。